

多様性の中で 主体性を育む

時に人は、自分とは異なる価値観・考え方に会うことで、

新しい世界、新しい自分を知る。そして、それは、生きることや学びの大きな原動力になることがある。

生徒の主体性を引き出す価値観・考え方との出会いをどうつくり、

その時教師はどのような指導をすればよいのか。多様な価値観・考え方に触れる機会が

増えていく社会のグローバル化も踏まえて、考えていく。(『VIEW21』高校版 編集長 柏木崇)

多様な価値観・考え方に触れ、変わる高校生たち

～「高校生未来プロジェクト」参加者のワークショップ後の声より～

様々な人と触れ合い、世の中には様々な異なる考え方を持つ人がいるということが、自分の選択をもう一度見直したり、他者に対してより寛容になったりするきっかけとなった。
(神奈川県／私立／2年／女子)

自分とは違う考えを持った人と出会い、触れ合うことで、自分自身を高められるということが、身に染みて分かった。
(徳島県／公立／2年／男子)

自分と似たような考え方を持っている人は何人かいたものの、その人たちの中でもそれぞれの価値観・世界観があって、みんなそれぞれなんだなあと思った。自分の考えばかりを主張するのではなく、人の考え方にも耳を傾けて、自分の中でも気付ける・考え直せるようになった。
(愛知県／公立／2年／女子)

※ 「高校生未来プロジェクト」の詳細については、弊誌2013年6月号(P.4～19)をご覧ください

本号のテーマ

多様な価値観との出会いをどうつくり、その時
どのような指導をすれば、主体性を育めるのか？

現場の
課題意識

生徒の主体性を育む
「多様な価値観との出会い」と「教師の問い掛け」

座談会【P.6～11】



「生徒が変わるための多様な体験の機会を意図的に仕組む」
福岡県・朝倉市立十文字中学校 佐々木隆良

「多様な価値観と出会える場として課外活動などを活用」

島根県立出雲高校 桑田直子



「異なる価値観との出会いを成長につなげる働き掛けを」
立命館大 堀江未来

「『君はどう思う?』と問い掛け、自分の頭で考える機会をつくる」

(株)野村総合研究所 太田百合子



「生徒と語り合うためには、教師自身の力量の向上が不可欠」
長崎県立長崎西高校 野村雄大

大学生2名の
経験事例

高校で出会った新たな価値観が
今なお主体的な自分をつくってくれた

高校時代の転換期【P.12～15】



「今に生きている、私を変えた高校時代のディベートの経験」
岩手大人文社会科学部国際文化課程2年 三好彩夏

「視野を広げ、将来の夢を育むことにもつながった、高校時代のボランティア活動」

青山学院大法学部法学科4年 北村勇氣



課題解決への
識者の提言

異質な他者と自分自身に
「なぜ?」を問い続け、主体性を養う

対談【P.16～19】

日本教育大学院大学 客員教授
北川達夫



ベネッセ教育総合研究所
鎌田恵太郎